

第7回 一宮川流域治水協議会 茂原市における流域対策の進捗状況 (茂原市)

1. 茂原市部会、自治分科会、農業分科会について
2. 茂原市における流域治水に対する取り組み状況

1. 茂原市部会、自治分科会、農業分科会について

○ 第4回自治分科会

(1) 開催日時

令和5年7月4日（火）

(2) 会議内容

- ・河川整備の進捗状況について
- ・内水対策等の進捗状況について
- ・流域治水に対する取り組みについて

(3) 意見等

- ・河川整備に関して想定降雨及び完成時期について教えていただきたい。
- ・明治橋の架け替えに関して詳細な工程表を作成し、関連する自治会への回覧等による周知を行っていただきたい。（対応済み）
- ・堤防内の草木や道路側溝の土砂堆積による浸水への影響やハザードマップの見直し、河川内の土砂撤去等の維持管理について教えていただきたい。



○ 第4回農業分科会

(1) 開催日時

令和5年7月31日（月）※書面開催

(2) 会議内容

- ・流域治水に対する取り組みについて

○ 第5回茂原市部会

(1) 開催日時

令和5年8月17日(木)

(2) 会議内容

- ・河川整備の進捗状況について
- ・内水対策等の進捗状況について
- ・流域治水に対する取り組みについて

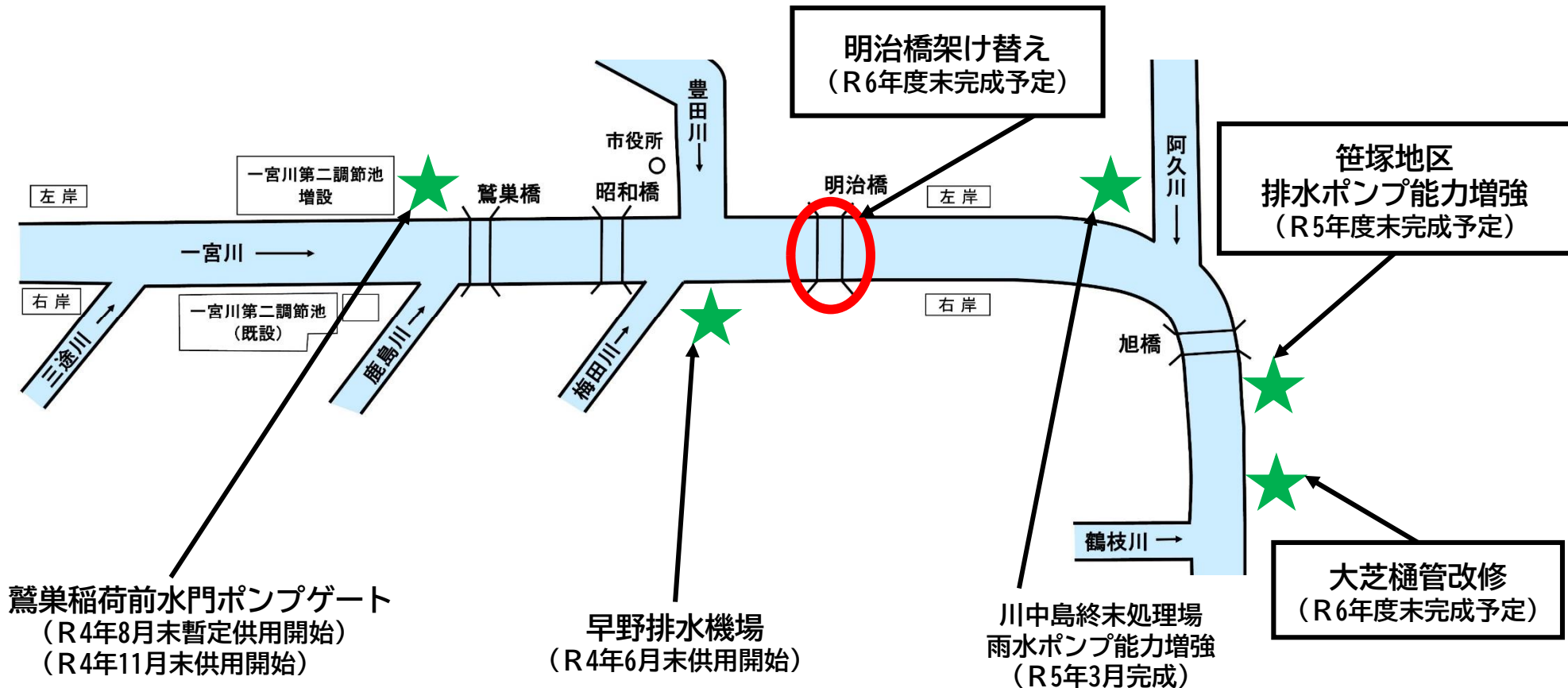
(3) 意見等

- ・河川内の竹木伐採や堆積土砂撤去等について、今後も実施していただき、河川の適切な維持管理に努めていただきたい。
- ・危機管理型水位計や監視カメラの設置により、河川の水位状況がスマートフォン等でリアルタイムで確認できるようになり、非常にありがたい。については、住民への十分な周知に努めていただきたい。



2. 茂原市における流域治水に対する取り組み状況

○内水対策等の進捗状況



○雨水貯留対策等

①雨水貯留施設等設置工事補助金

令和4年度実績 (貯留槽)	平成26～令和3年度実績 (貯留槽)
150 L × 4基 = 貯留量 600 L、160 L × 1基 = 貯留量 160 L	49基 = 貯留量 9,997L
185 L × 1基 = 貯留量 185 L、200 L × 1基 = 貯留量 200 L	
500 L × 1基 = 貯留量 500 L	(浸透枺)
合計 8基 貯留量 1,645 L	9基 -

②土のう配布

- ・ 22,900袋を作成し、茂原市役所他3箇所（公共施設）にて無料配布。

③調整池浚渫

- ・ 市が管理する調整池について、堆積状況を考慮しながら計画的に実施。
令和4年度実績：1箇所
令和5年度予定：1箇所

④宅地開発等における貯留対策

- ・ 市内1ヘクタール以上の民間開発調整池について、令和3年度より雨水の流出抑制及び維持管理の協力依頼を実施し、令和5年度は、22事業者、24調整池に対し、本年4月～5月の梅雨前に依頼。

⑤防災情報等の周知

- ・ 防災行政無線及びメール等による防災情報等の提供、防災行政無線テレホンサービス、防災行政無線戸別受信機の貸与等を実施。

○宅地開発許可対象面積の変更について

①茂原市の宅地開発の現状について

- ・都市計画法に基づき、開発行為については千葉県知事による許可制。
- ・茂原市は、全域が都市計画区域となっており、3,000㎡以上の開発行為は千葉県知事の許可を受ける。
- ・1,000㎡以上、3,000㎡未満の開発行為については、市と開発事前協議を行い同意を得る。
- ・市内では1,000㎡以上の開発行為が大多数を占めており、知事許可の申請件数が少ない。

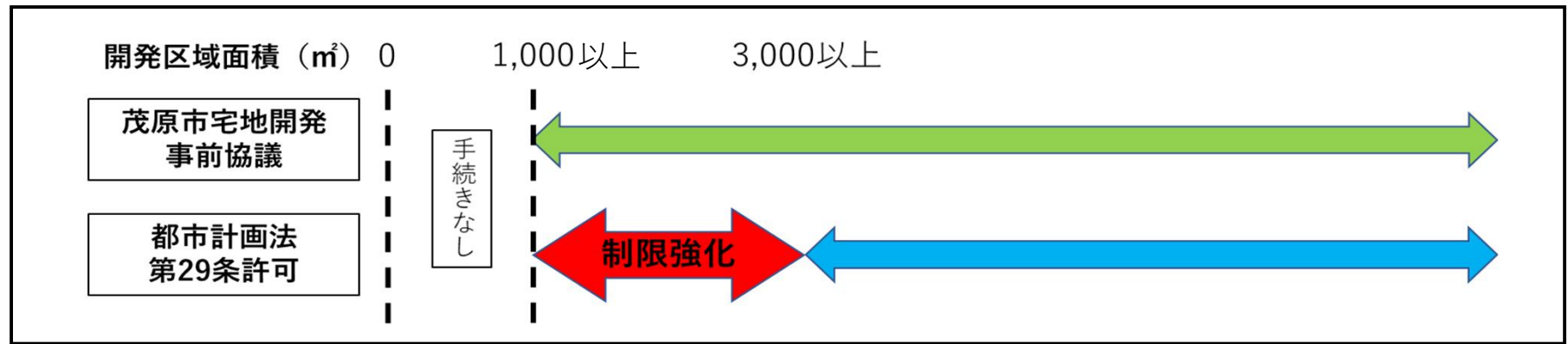
(参考：開発行為の申請件数)

開発面積	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計 (件)
3,000㎡ 以上	2	2	2	2	3	3	3	5	0	3	25
1,000㎡ 以上	12	16	12	18	13	14	12	10	16	22	145

②開発許可基準の変更について

- ・ 現在3,000㎡以上となっている許可対象の開発行為を1,000㎡以上に変更予定。
- ・ 開発行為の手続違反等に対する罰則の適用、制限の強化を目的とする。
- ・ 許可申請の前に行う、開発事前協議はこれまで通り並行して行い、市の同意を得る。

(変更イメージ)



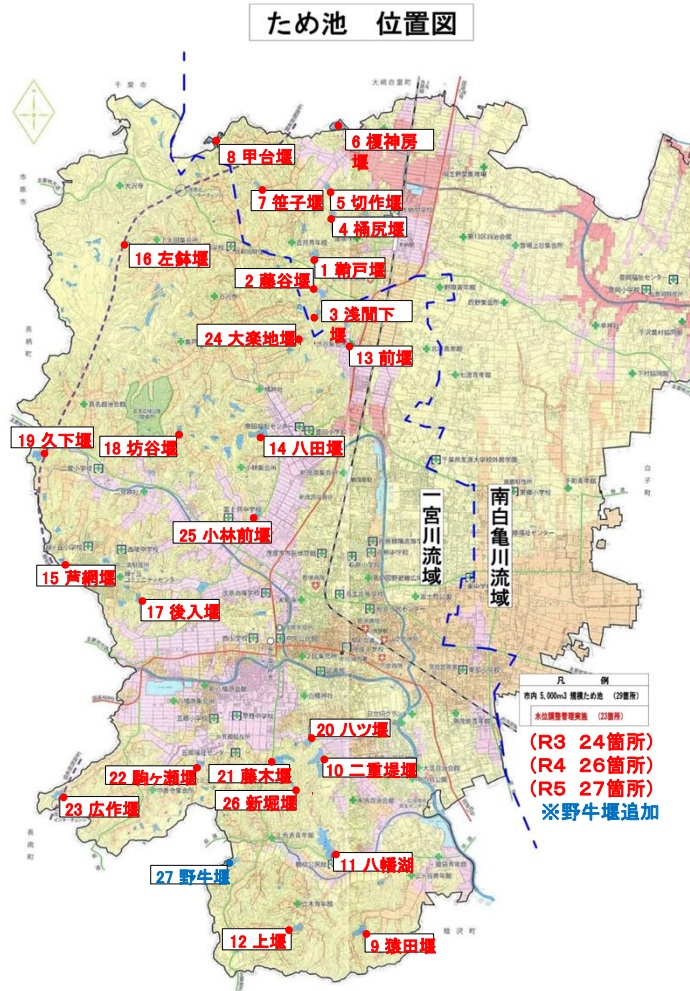
③特定都市河川及び特定都市河川流域の指定について

- ・ 令和5年10月1日より施行。
- ・ 耕地から宅地への変更や土地の舗装等の雨水浸透阻害行為（面積1,000㎡以上）に対して、知事の許可が必要となり、雨水貯留浸透施設の設置が義務付けられる。
- ・ 雨水浸透阻害行為により雨水が地面に浸透しなくなる分について、流出を抑制する対策を求めるもの。

○既存ため池を活用した貯留、田んぼダム実施状況

①既存ため池を活用した貯留

※令和5年度は27箇所を実施



用水期(貯留水位)



非用水期(調整水位)



水位調整 約140cm下げ



②田んぼダム実施状況

平成26年度から農家組合長会議でチラシを配布し、地域ぐるみで協力をお願いしている。現在は、3団体・4地域で水田への貯水が行われております。

	計画面積	実施面積	
※柴名・上太田環境保全対策協議会	2,030 a	内2,030 a	
国府関環境保全会	3,349 a	内1,674 a	
早野地域資源保全会	2,240 a	内1,000 a	
計	7,619 a	内4,704 a	→47ha→4.7万 ³ m ³ 貯水量

①柴名・上太田環境保全対策協議会



②国府関環境保全会



③早野地域資源保全会

